

今年度の重点努力事項の評価

～教育活動アンケートより～

教育活動アンケートへのご協力ありがとうございました。2回のアンケート結果から、今年度の重点努力事項に係る項目について評価結果をお知らせします。

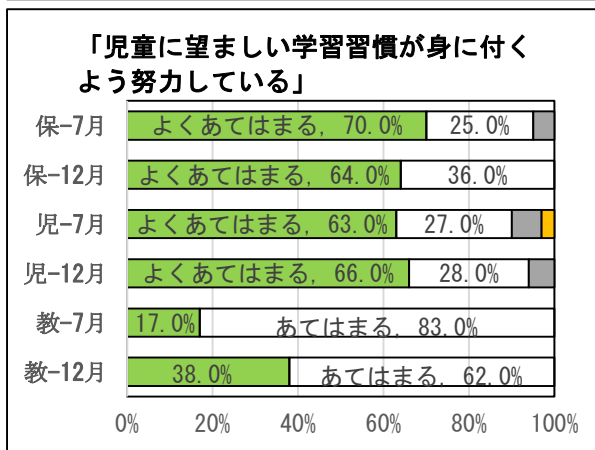
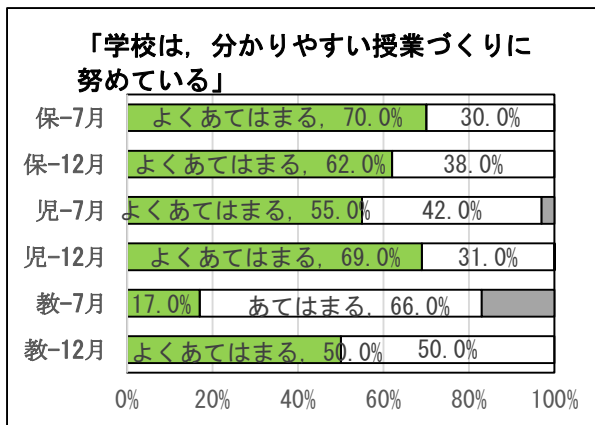
今年度の重点努力事項は

「分かる授業づくりによる児童の学ぶ意欲の向上」

「地域の良さを生かしたESDと志教育の推進」

「安全、安心な学校づくり」、「心の健康と体力の向上」です。

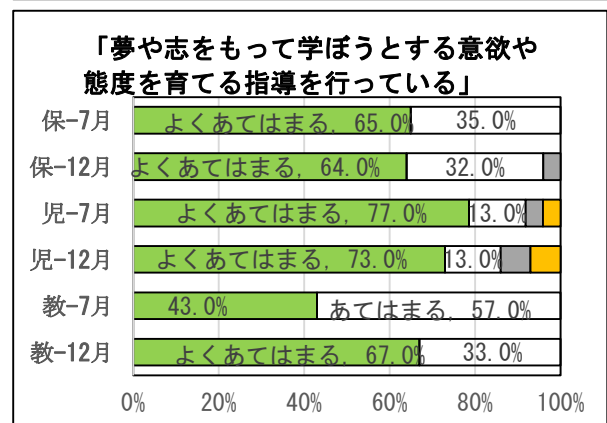
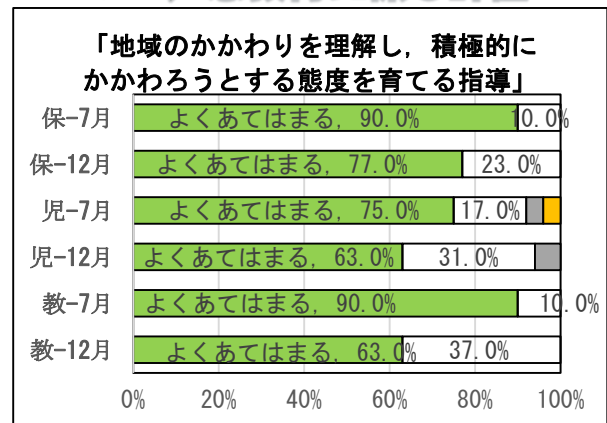
分かる授業づくりに係る評価



「分かりやすい授業づくり」については教師の意識の向上に伴い、児童の意識が大きく変わりました。教師側の意識の大切さを改めて実感した次第です。さらに、指導の効果が表れるには、「宿題への取組」や「準備物を忘れない」などの「良い習慣づくり」が大切です。この点につ

いては、ご家庭のご協力を頂きながら取り組んで参りたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

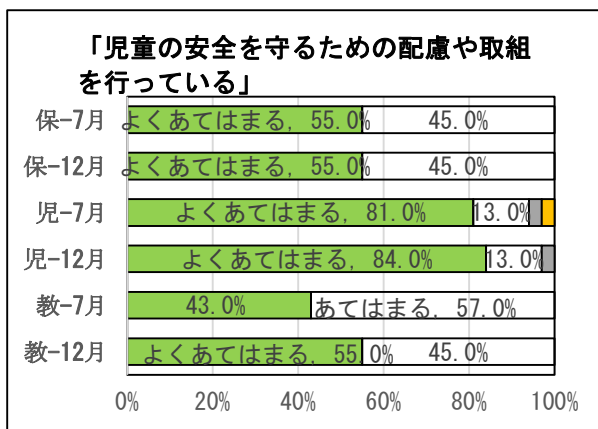
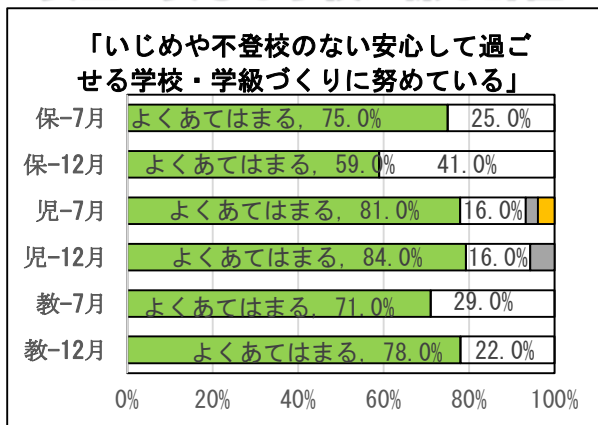
ESD、志教育に係る評価



本校では、「自分と地域のかかわりを理解し、積極的にかかわろうとする態度を育てる」指導（ESD）、そして志教育として、まごめっこまつりや学芸会などの行事の他、低学年は生活科、

中・高学年については総合的な学習の時間に地域の自然や施設、防災について学んだり、幼稚園や地域の方と交流する学習を行ったりしています。今年度は特に志教育支援事業の指定地区になったことで教師側の意識の高まりにつながったものと考えています。このESDや志教育を通じて、地域を愛する気持ち、地域へ貢献しようとする意欲や態度、主体的に学ぶ姿勢、協力して課題を解決する力の育成に取り組んで参りたいと思います。

安全・安心な学校に係る評価

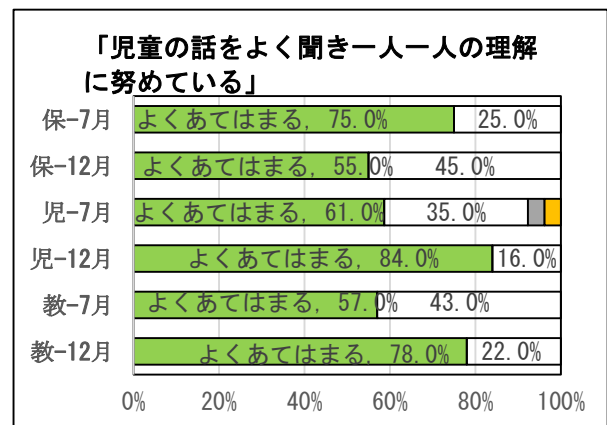
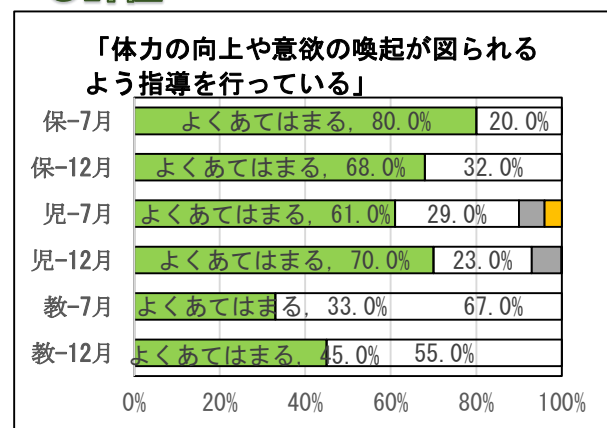


いじめ等への取組については、保護者の「よくあてはまる」と回答した割合が20ポイント下回り50%台となりましたが、児童、教師の割合は約80%でした。2月現在において「いじめ」に該当する事案は出ておりませんが、今後ともいじめの未然防止に努めて参ります。また、後にも述べますが、担任をはじめとした教職員は、きちんと子ども達の言葉に耳を傾けながら、子ども達に目を配り、小さな変化を見逃さないよう努めているところです。

「児童の安全を守るための配慮や取組を行って

いる」については、「よくあてはまる」と回答した児童の割合は7月、12月とも8割を越えており、教師や保護者の意識以上に高い結果となりました。これは、各種避難訓練や防犯教室、着衣水泳等において「命を守る」ことの大切さについて子ども達に伝えていくからではと考えております。さらに校内の体制整備とともに、児童の危機回避能力を育成し、さらに安全・安心な学校づくりに取り組んでまいります。

心の健康と体力の向上に係る評価



「体力の向上」については、持久走大会に向けた業間マラソン等の取組もあり、児童の意識が高まりました。現在、体育の指導の中で、本校の課題である筋力や柔軟性、走力の向上に取り組み、少しずつその成果が表れてきているところです。「児童の話をよく聞き一人一人の理解に努めている」については、保護者の「よくあてはまる」と回答した割合が約20ポイント下がりましたが、児童と教師は逆に約20ポイント上がりました。